

# 2025年度出張授業一覧

※授業内容については一覧表の下部にある「授業に関する問い合わせ先」の各学科・専攻にお問い合わせください。

※英語英文学科、コミュニケーション文化学科については広報・募集グループにお問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】大妻女子大学 広報・募集グループ ☎03-5275-6011 Fax 03-3261-8119 ✉ kouhou@ml.otsuma.ac.jp

## 短期大学部

<b>家政科 家政総合コース</b>	衣・食・住を中心に、教養科目と生活全般を複合的に学びます。実習や演習科目が多く、知識だけでなく、技術を習得できます。専門職としての資格を取得できる授業もあります。新時代の新しいライフスタイルをつくり、自立して「好きで得意な道選び」を実現する、一人ひとりの目標や興味に合わせた学びができるコースです。
最少催行人数：10	

No.	授業名	内容	講師名	出張可能曜日	
				前期 (4~7月)	後期 (10~1月)
1	アパレルのサイズに関する知識	アパレルEC化率は22.88%とEC化率が進んでいますが、ECサイトでは、なかなか自分のサイズ感を掴むことができません。解決するためのソリューションなど、アパレルのサイズに関する知識を解説します。	中村邦子	金	月
2	フードコーディネーターって何？	フードコーディネーター論の基礎的なことを、お話しします。時間があれば、簡単にできるフードコーディネーターグッズ（トーキンググッズ）を作ります。	高橋ユリア	土	
3	フードコーディネーターを愉しみ、食を愉しみ、人生を愉しむ	フードコーディネーターという「揃った食器がない、時間がない、お金もない」という言葉を耳にします。フードコーディネーターは、そんな大変なことではなく、ホスピタリティ、おもてなしの心さえあれば、誰でも簡単に愉しむことができることをお話しします。	高橋ユリア	土	
4	健康に食べて“元気ハツラツ腸美人！”	普段、何気なく食べ物を口にしていますが、食べた物で自分のカラダが作られます。カラダの細胞を活性化するために腸美人になる食べ方について考えます。	下坂 智恵	月	木
5	その住まいは持続可能か、それとも持続不可能か。	持続可能な住生活を送るためには、どんな住まいであれば実現できるでしょうか。みなさんの良く知っている事例を挙げながら、その特徴を整理して「持続可能」について考えます。	谷口 新	月	月
6	人の心理と空間デザイン	例えば、夏の暑さにはその時代なりの工夫がなされ、現代では科学技術の発展に伴いエアコンで快適に過ごせるようになりました。しかし、居心地の良さはまた別の要素がありそうです。空間と心理の話をしていきます。	谷口 新	月	月
7	名作住宅とその果たした役割<国内編>	現代の住まいに影響を与えた名作住宅を題材にしながら、その時代背景を踏まえ、どのようなアイデアがあったのか。個性豊かな空間構成、独創的な設計思想について考えます。日本での事例を紹介いたします。	谷口 新	月	月
8	名作住宅とその果たした役割<海外編>	現代の住まいに影響を与えた名作住宅を題材にしながら、その時代背景を踏まえ、どのようなアイデアがあったのか。個性豊かな空間構成、独創的な設計思想について考えます。主に欧米の住まいで日本への影響がみられる事例を紹介いたします。	谷口 新	月	月
9	住まいのインテリアコーディネート	一戸建て、集合住宅ともに、新築は手間暇がかかります。一方で既存のものを活用する方法もあります。これからの住まいにおいてはインテリアのコーディネートでライフスタイルに合わせた場所を創造することがもっと身近になるでしょう。その可能性を探ります。	谷口 新	月	月
10	間取りからみる住まい入門	みなさんの日常生活の中で、その家の住み心地はいかがですか。基本的な指標である空間の大きさ、機能、配置などを確認しながら、住みやすい家とは？生活様式の変化を踏まえつつ現代の住まいづくりについて考えます。	谷口 新	月	月
11	地球の環境を考えてみましょう	身の回りの環境問題には、様々なものがあります。例えば、普段の生活に関係する飲み水の安全性や気温の上昇などの気候の変動、また気がついたら外から多くの生き物が入ってきて、農作物などに被害を及ぼしていることも知られています。これらの事象をみなさんと一緒に考えていき、問題の本質を見つめたいと思います。	手呂内 伸之	土	

## 授業に関する問い合わせ先

学科・名称	問合せ先	電話	メール
短期大学部			
家政科 家政総合コース	家政総合コース代表 高橋ユリア	03-5275-6141	<a href="mailto:kaseisougou.s.i@ml.otsuma.ac.jp">kaseisougou.s.i@ml.otsuma.ac.jp</a>